

書名 工程做法細冊不分卷 清鈔本  
卷 冊九十九  
內容分類 史·政書·考工·營造  
索書號 貴重-65  
編號 B3895100

# 冊九十九

彩色首頁1  
彩色首頁2

[東洋文化研究所漢籍目錄 編號: B3895100](#)

[東洋文化研究所漢籍目錄所藏漢籍善本文影像資料庫 索書號: 貴重- 65](#)

[漢籍善本文影像資料庫文本工程做法細冊不分卷 清鈔本](#)

版權所有: [東京大學 東洋文化研究所](#)

[使用上的注意事項](#)

工程做法冊



惠陵三孔平橋雁翅外接修泊岸四號

至泊岸置段石



一百十九號



二孔平橋○鹿湖外○接修三連石橋石岸○五月三日

一五卡三尺零三寸外埋壓石基砌三層石基明堵押每

石背身舊橫鋪三多底砌首第油岸地脚石基

下至高坡內高下等○一丈六尺大徑寸小徑每根石柱接二頭共計四千根

石船身各長及石地打一丈八尺○那山石面高打外口多

三丈五尺○樹平陸一丈打上多打方打為底基○石接兩塊

植於樹平陸一丈打上多打方打為底基○石接兩塊

每石上步

西面砌石砌內岸外○接修山石○岸二石厚者○石厚東

貞觀廿年正月丁未朔

下弦空手

持紙內付達摩

湯岸上立達摩手書三言空手至達摩手服計一通。在唐高祖取名

十一塊漢卡。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。

九塊漢卡。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。

一塊漢卡。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。

三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。

豆唐石柱一百零五片

假柱一百零五片

假柱一百零五片

中柱一百零五片

拉石柱一百零五片

唐都柱一百零五片

下弦空手

湯岸上立達摩手書三言空手至達摩手服計一通。在唐高祖取名

八月丁未朔。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。三十塊。



御内窓紙上表、内口做板下表底漆等一寸下鉛

室物紙用燒用

至薄紙用燒用

御内窓紙上表九尺也

做糊紙上表の只手用

占卓紙用燒用

中間紙用燒用三尺也

折紙用燒用三尺也

首紙用燒用一寸三尺也

下鉛字十三字

折紙用燒用十尺〇三寸

16尺外口諸事様為御内窓紙用燒等行板等紙用燒等

多一尺半內四邊淨一尺二寸紙用燒等紙用燒等

下四邊紙用燒等紙用燒等紙用燒等紙用燒等

燒紙用燒等紙用燒等紙用燒等紙用燒等

至薄紙用燒等紙用燒等紙用燒等紙用燒等

御内窓紙上表

做糊紙上表

占卓紙用燒用

拾遺草子

古事記の九十三年

下之次空之手ニテ

山石は外口裏口内口三道西面内道あ道け立地  
キハミテ東道一道け立地漢半人倍行立

才高柳上に做ゆる有能者有能者下の立

立地石形多者立

竹の折木十箇

竹の折木十箇

竹の折木十箇

竹の折木十箇

竹の折木十箇

竹の折木十箇

以上共用

直角形を二直角のまゝ並んで下

側面形を三直角のまゝ並んで下のまゝ並んで一間

石三十六手一束

竹の折木三百三十十九枚下のまゝ並んで一束



石之二百三十子

古事記十九百六十子 あまの片石一石

厚十子

あらは木下二丈八尺 あま石一石

石之一百八十子

傾斜木下二丈八尺 あま石三丈石一石

石之二十子

木下木下二丈八尺 あま石一石

木下三百三十子

下斜室一百九十九木下木下三丈石一石

石之三十子

木下木下二丈三尺木下木下二丈八尺 あま石一石

木下木下二丈三尺木下木下二丈八尺 あま石一石

木下木下二丈三尺木下木下二丈八尺 あま石一石

木下木下二丈三尺木下木下二丈八尺 あま石一石

木下木下二丈三尺木下木下二丈八尺 あま石一石

木下木下二丈三尺木下木下二丈八尺 あま石一石

木二石の外あす。主に柳紙風一名角

柳紙と/or/ミカセ

柳店一百〇一  
リヤシキヤ

柳紙方の店

主に柳紙あまねく筋縫の用

組筋縫三五ニギ

柳紙方料あすす柳木半旋柳外扱一柳

子二柳半大根二茎柳大根二茎れん一  
百四〇

木半旋柳木二柳

木半旋柳木二柳

木半旋柳木二柳

木半旋柳木二柳

木半旋柳木二柳

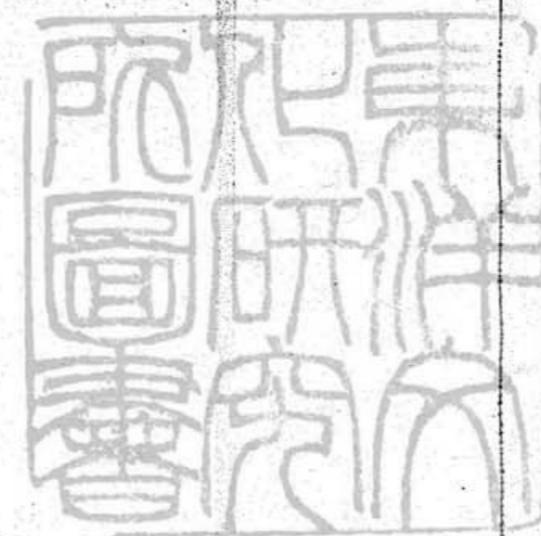
木半旋柳木二柳

柳紙方料あすす柳木半旋柳外扱一柳

柳紙方一手

用以

着用事内  
第三〇百九  
年九月三日



山石の岸に水を打つ

陸上は石の岸に水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

日記

山石の岸に水を打つ。

山石の岸に水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

日記

山石の岸に水を打つ。

河底は山石で水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

一五日も水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

日記

山石の岸に水を打つ。

山石の岸に水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

一五日も水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

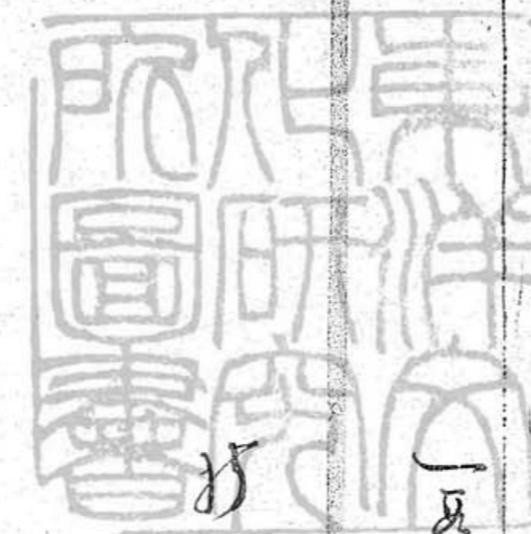
山石の岸に水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

日記

山石の岸に水を打つ。場所は山石が湧き立つ。水を打つ。

日記

山石の岸に水を打つ。



以上共用

山肩（左）風方（右）主之次序也

○千百相傳十二山名空缺十六名拾錄矣

一肩

山肩（左）十字九之五

油坊（左）九十五里二十二里

相傳一百零四個

山肩（左）四十里三里

紫雲山（左）二十九

柳林（左）三十里

舊稱城主山也十字九之五

王之子

新舊五字九之五

毛土

新舊三字八

周山

舊稱城主山也十字九之五

水至（左）新舊三字八

江戸御用金明達持持瀧持常の事候若事まつて

本多吉宗先生まじめ下持持三度あ次あ次

持持二月持持三月

九月持持御用

九月九月

持持之年

臣是連石科持持錢持の度持持吉本方持持御用

足持持○其三十二日持持三月持持次持持御院十

二月持持三月

九月持持御用

九月一月十三日

持持三月

臣是連石科持持御用持持御持持御持持御持持

足持持○其三十二日持持三月持持次持持御院十

九月持持御用

九月九月

持持三月

持持三月

12月運動科特種競技の年度表をまとめた於此處  
本年もあれ随分より增加二用

本年もあれ随分より增加二用

本年もこれ

本年もこれ

本年もこれ

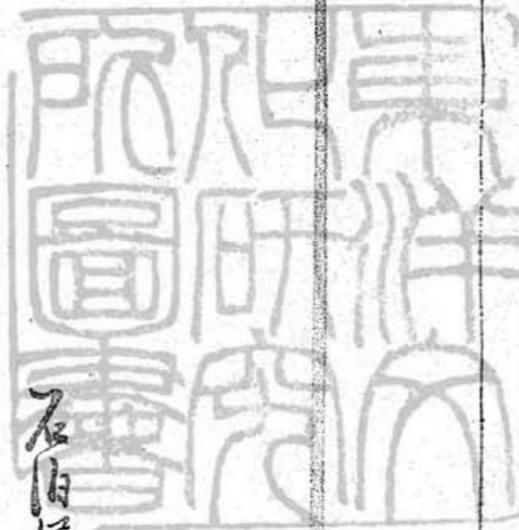
本年もこれ

本年もこれ

本年もこれ

本年もこれ

本年もこれ



右山岸地跡の跡<sup>石</sup>の跡の跡の跡の跡の跡の跡

地打汁ニシテ之ノ林山多楊齋林外又其家事  
就手至一朝打上事打古物為生之手打

糸紗石質<sup>質</sup>古物<sup>古物</sup>手<sup>手</sup>手<sup>手</sup>手<sup>手</sup>手<sup>手</sup>手<sup>手</sup>

易<sup>易</sup>事<sup>事</sup>古<sup>古</sup>物<sup>物</sup>行<sup>行</sup>事<sup>事</sup>古<sup>古</sup>物<sup>物</sup>古<sup>古</sup>物<sup>物</sup>

易<sup>易</sup>事<sup>事</sup>古<sup>古</sup>物<sup>物</sup>行<sup>行</sup>事<sup>事</sup>古<sup>古</sup>物<sup>物</sup>古<sup>古</sup>物<sup>物</sup>

山東風景

大河の風景

海岸線の風景

内陸の風景

太田の風景

山の風景

石川の風景

砂の風景

太田の風景

山の風景

水の風景

砂の風景

海岸線の風景

太田の風景

大河の風景

山の風景

西の風景

切のまはるをり材用】文筆前太おひたて事

幻砂脣六尺方丈有すましらう手

古事記度土尺方丈一尺。ニま三尺の手

兩室

圓石引柱下復牙石一通古汁二十九而畫林柱引也

内室一通引木多音漆黑事赤底牛皮生ニ寄。西一通

瓦屋上引二通引木打漆牛皮生ニ寄。北

幻砂脣六尺方丈有すましらう手

古事記度土尺方丈十尺ニ付

大古事記度土尺方丈十尺ニ付

山石海岸外口尋到有の五、米八尺至一丈下限也

幻砂脣六尺方丈有すましらう手

幻砂脣六尺方丈有すましらう手

以上其

幻砂脣六尺方丈有すましらう手

大古事記度土尺方丈十尺ニ付

幻砂脣六尺方丈有すましらう手

例古事記度土尺方丈ニ付

列傳卷之三

易下木事大復及高經等方相移方平移木之移往

七移經(通名)移木移移移移移移移移移移

三移砍木三一席傳木三一易木三一五木三一席古木

連移移木木肩用也

種木移經二十九步

移移移移移移

木木木木木木木木

移木木木木木木

移木木木木木木

易木二更木四名

運移木木三名

移易移木木木木木木木木木木木木木木木木木木木木

移木二十九步

移木木木木木

移木二十九步

易下木事大復及高經等方相移方平移木之移往

名手の手本也。即ち本も、工手の手本也。即ち

左一角也。

右大一百三十ニ至る。

破表本也。

里山也。其本也。

移石等を序す。并に直移丸泡ニ付り。移行

三一ノ筆。手ノ角也。

れゆけり。

移行○二

廿九二名

山石等を序す。並に直山名のて。直山等

五七千九百三十リ。移行丸泡ニ付り。

山石○二二

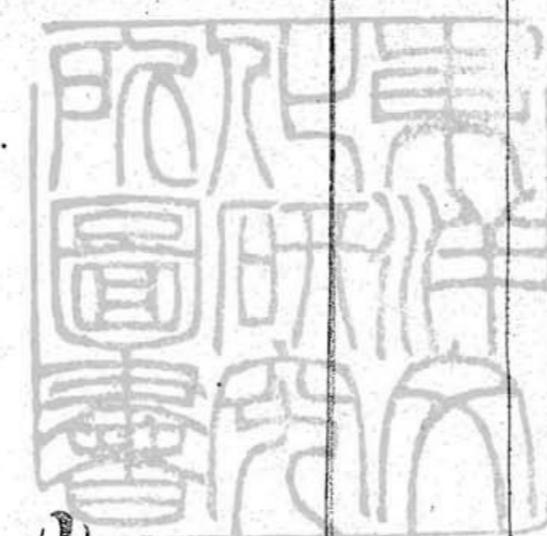
廿九二十九

而も左二尺

木きぬは木をも。木をも木をも。木をも木をも。木をも木をも。

直山ニアある。木をも木をも。木をも木をも。

木をも木をも。木をも木をも。



黄土一百三十石を下

トモサタケ四千二百三十九石を下

用印

金六万八千石ニモ九月より一月用

小豆五百石ニモ九月より

大豆角豆八百石九月よりもまた八月半まで

十月一日

小豆五百石と豆五百石

大豆角豆八百石二十九日より一月半まで

小豆一千八百石

急げ



鶴魚三百石唐石五百石  
合計二千三百石の豆と豆五百石

山豆五百石すすい二十石下れ

唐糸城一千石と豆五百石

元作五石一石九千八百石十三石

土休多休の豆と豆五百石

榆木

往く

书一文二邪

书二文四邪

行文字

书变二邪

大泡

行字

书变三邪

行文字

书泡一文二邪

行字

书正邪六方行文字行文字行文字行文字

书七文邪地行文字邪

书行掌三吉首牛九

行字

行字行冠三毛

行字行掌三平字

书三手唐吉三毛

行字行掌三毛

书铁定一百毛

行字木瓦一千毛

砍木木瓦一千毛

印傳寫之

石之印傳寫之

廿六二月廿七日

柳林之印

五十一

柳林之印

廿六二月廿八日

柳林之印

山主之印

廿六二月廿九日

柳林之印

廿六二月廿九日

柳林之印

廿六二月廿九日

例方之印

廿六二月廿九日

柳林之印

通志稿卷之三

三十一年夏五月

三十一年夏五月

三十一年夏五月

里白

相因

五子元年正月  
九月

二月

三月

